

VirtualBox CentOS 7 Setup

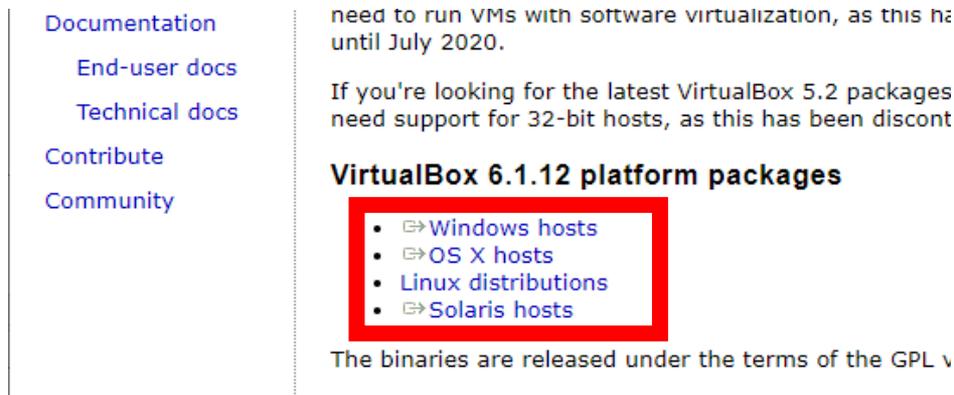
千代浩司

高エネルギー加速器研究機構 (KEK)

素粒子原子核研究所 (IPNS)

VirtualBoxのインストール

- <https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads> から使用するOS（Windows, macOS, Linux）にあわせてVirtualBoxをダウンロードします。



Documentation
End-user docs
Technical docs
Contribute
Community

need to run VMs with software virtualization, as this has been discontinued until July 2020.

If you're looking for the latest VirtualBox 5.2 packages need support for 32-bit hosts, as this has been discontinued.

VirtualBox 6.1.12 platform packages

- [Windows hosts](#)
- [OS X hosts](#)
- [Linux distributions](#)
- [Solaris hosts](#)

The binaries are released under the terms of the GPL v2 license.

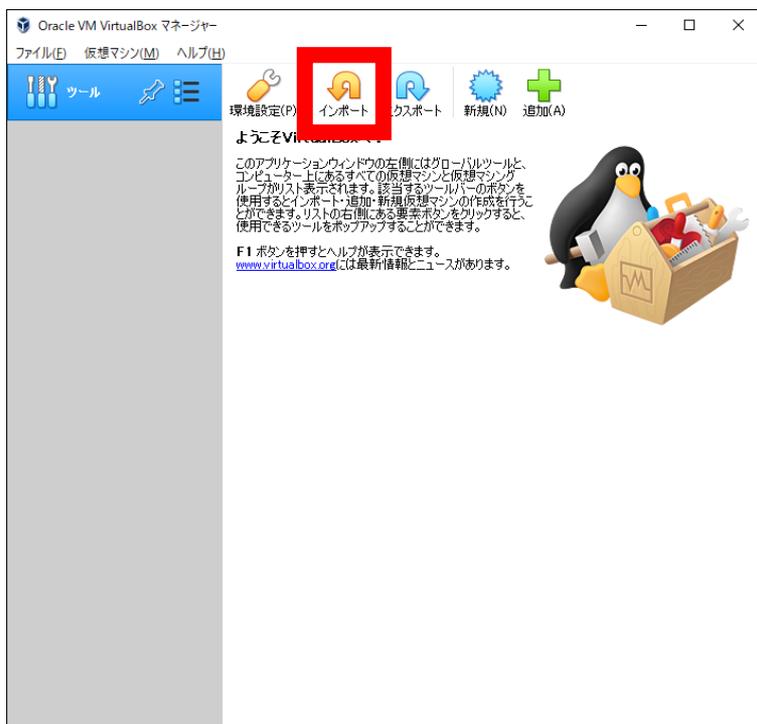
- ダウンロードしたファイルをクリックするとインストールが始まります。でてくるダイアログはYESを選びます。

VirtualBox CentOS セットアップ方法

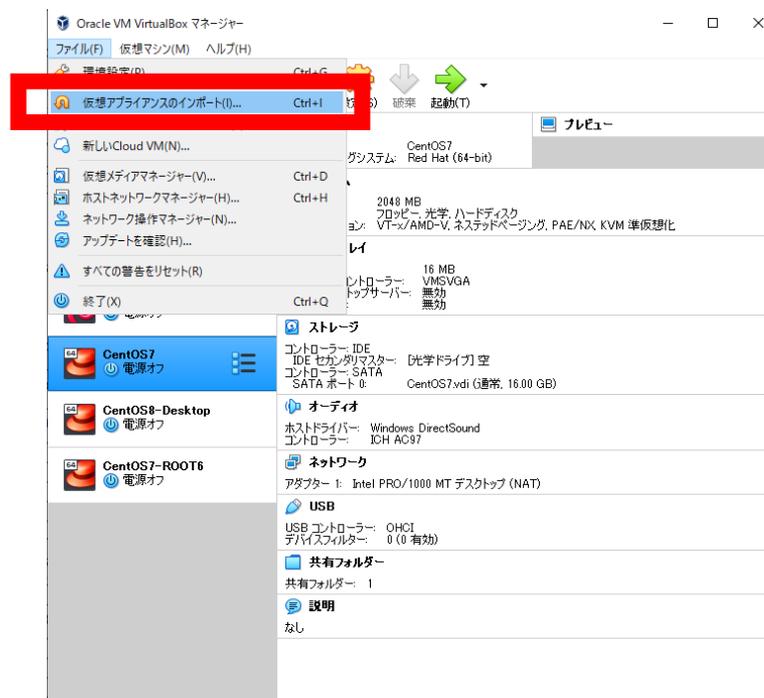
- 以下、CentOS7.ovaをダウンロードしたときの例です（場合によりダウンロードファイル名はかわるかもしれませんが）。
- Windows 10でのスクリーンキャプチャをのせていますが、macOSでも同様に作業します。

VirtualBoxを起動する。

- まだなにもセットしていない場合は「インポート」をクリックする。
- すでにゲストOSをセットしている場合はメニューバー「ファイル」から「仮想アプライアンスのインポート」をクリック



OR





をクリックしてダウンロードしたCentOS7.ovaを選択する。

← 仮想アプライアンスのインポート

インポートしたい仮想アプライアンス

アプライアンスのインポート元を選択してください。ローカルファイルシステムにあるOVFアーカイブのインポートと、対応したクラウドサービスプロバイダーのクラウドVMのインポートのいずれかを行います。

ソース(S): ローカルファイルシステム

インポートする仮想アプライアンスを選択してください。VirtualBoxは現在Open Virtualization Format (OVF)で保存されたアプライアンスのみインポートに対応しています。継続するには、以下の欄でインポートするファイルを選択してください。

ファイル(F):



エキスパートモード(E)

次へ(N)

キャンセル

CentOS7.ovaを選択後、「次へ」をクリックする。

← 仮想アプライアンスのインポート

インポートしたい仮想アプライアンス

アプライアンスのインポート元を選択してください。ローカルファイルシステムにあるOVFアーカイブのインポートと、対応したクラウドサービスプロバイダーのクラウドVMのインポートのいずれかを行えます。

ソース(S): ローカルファイルシステム

インポートする仮想アプライアンスを選択してください。VirtualBoxは現在Open Virtualization Format (OVF)で保存されたアプライアンスのみインポートに対応しています。継続するには、以下の欄でインポートするファイルを選択してください。

ファイル(F): C:\Users\hiroshi\Downloads\CentOS7.ova

エキスパートモード(E)

次へ(N)

キャンセル

「インポート」をクリックする。

← 仮想アプライアンスのインポート

仮想アプライアンスの設定

VirtualBoxにインポートする仮想アプライアンス情報で記載された仮想マシン構成です。項目をダブルクリックすると、表示されているプロパティの大部分を変更できます。また、以下のチェックボックスを使用して他のプロパティを無効にすることができます。

仮想システム 1	
名前	CentOS7
ゲストOSのタイプ	Red Hat (64-bit)
CPU	1
RAM	2048 MB
DVD	<input checked="" type="checkbox"/>
USB コントローラー	<input checked="" type="checkbox"/>
サウンドカード	<input checked="" type="checkbox"/> ICH AC97
ネットワークアダプター	<input checked="" type="checkbox"/> Intel PRO/1000 MT デスクトップ (82540EM)
ストレージコントローラー (IDE)	PIIX4
ストレージコントローラー (IDE)	PIIX4
▼ ストレージコントローラー (SATA)	AHCI
仮想ディスクイメージ	CentOS7-disk001.vmdk
ベースフォルダー	C:\Users\hiroshi\VirtualBox VMs
プライマリグループ	/

仮想マシンの基本フォルダー(M): C:\Users\hiroshi\VirtualBox VMs

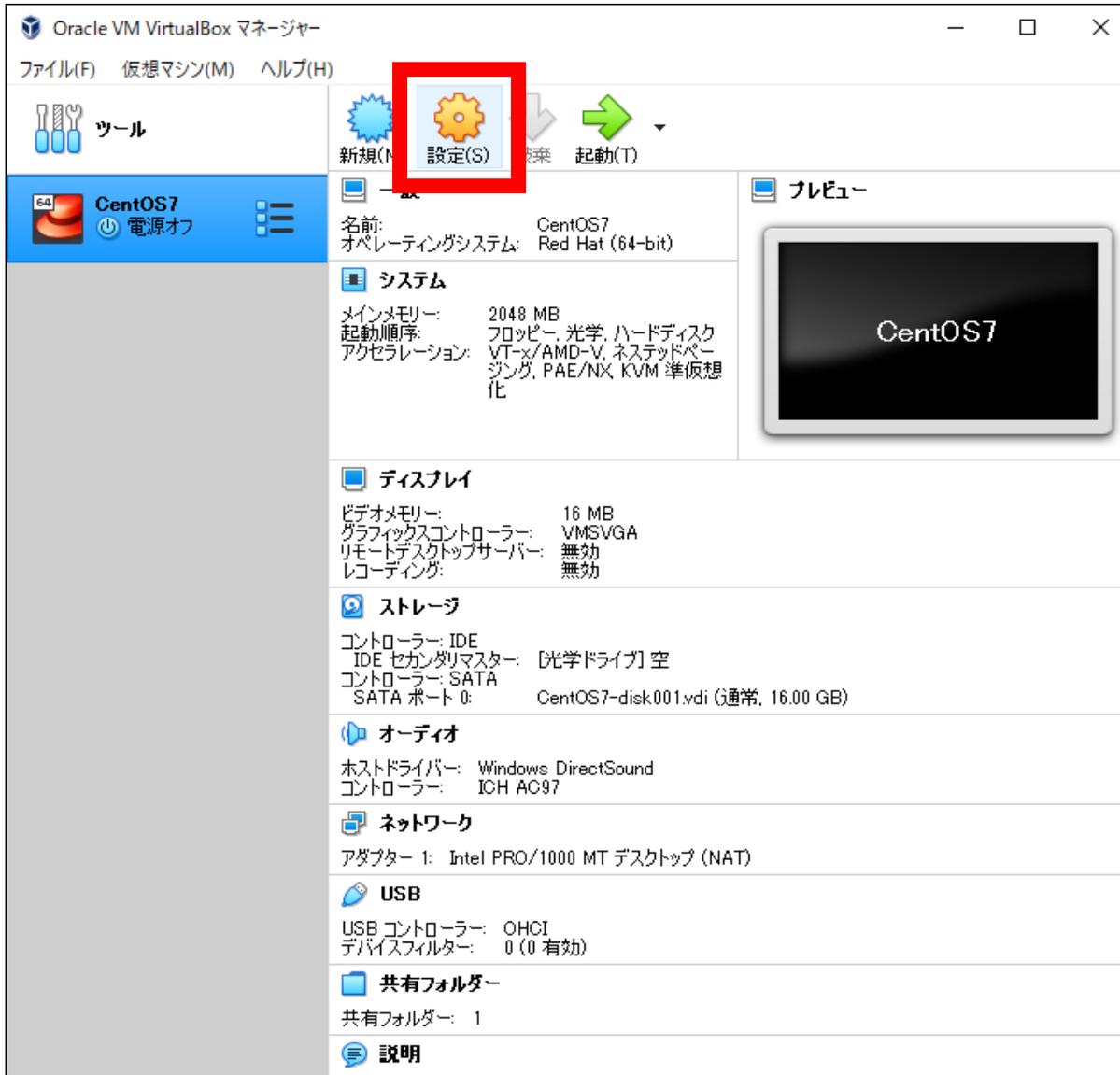
MACアドレスのポリシー(P): NATネットワークアダプターのMACアドレスのみ含む

追加オプション: ハードドライブをVDとしてインポート(D)

仮想アプライアンスは署名されていません

デフォルト値に戻す **インポート** キャンセル

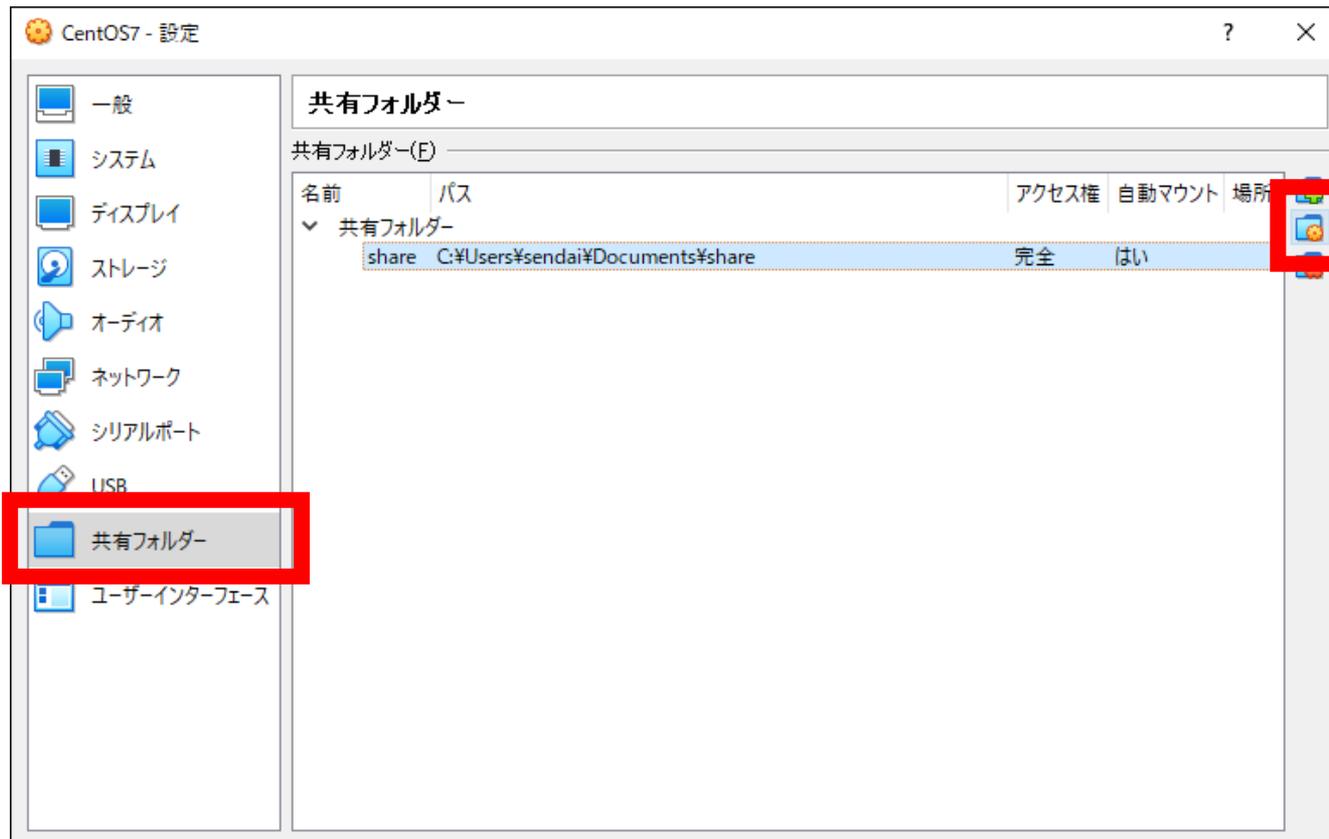
名前を変更したい場合はここをクリックすると編集できるようになる。他は編集しなくてもよい。



しばらく待つとCentOS7のインポートが終了し左図のようになる。

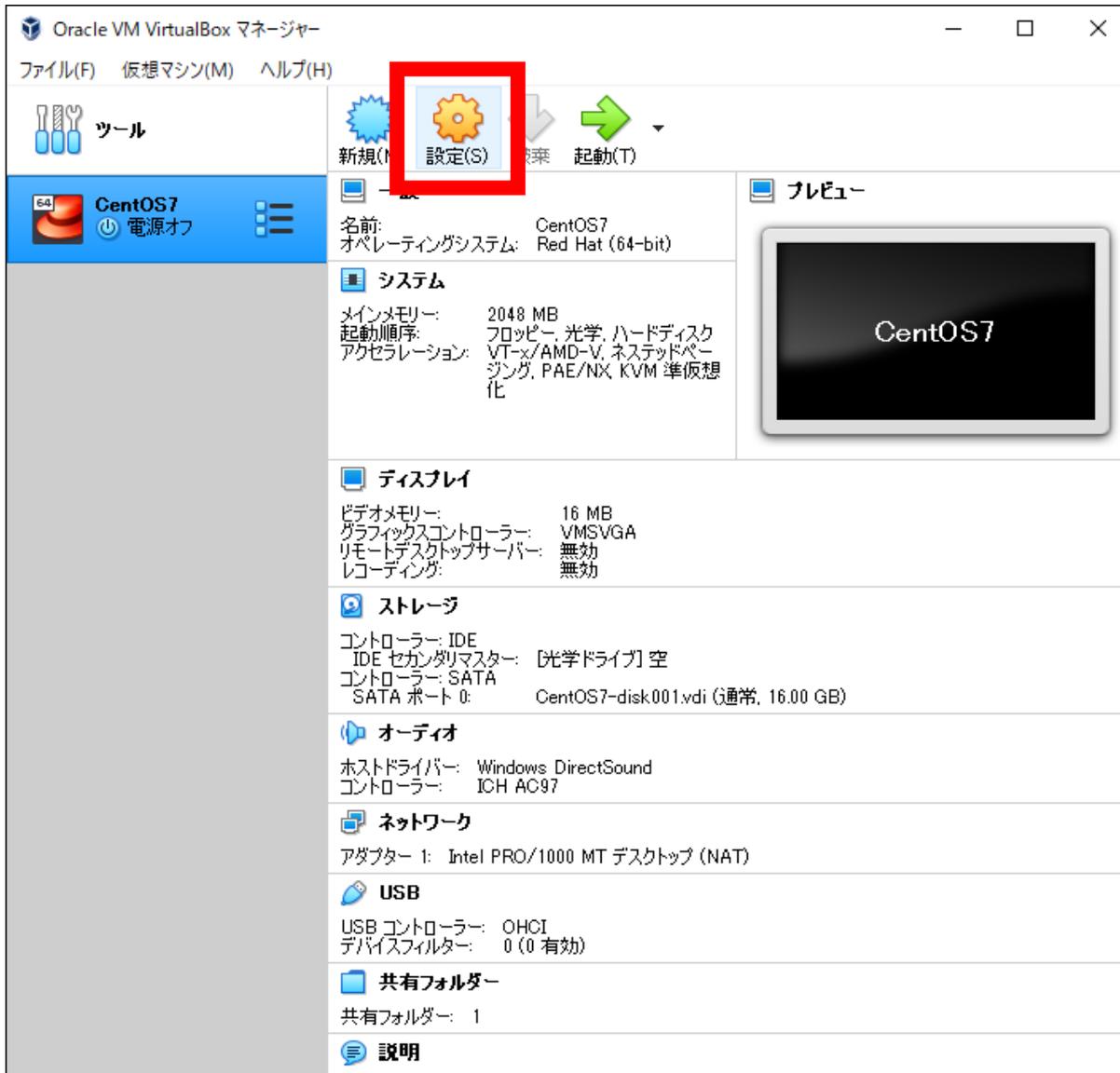
共有フォルダを設定しておくでVirtualBox内CentOSとホストOS (Windowsあるいは macOS)間でファイルを共有することができるようになり便利なのでここで共有フォルダを設定しておく。

「設定」をクリックして共有フォルダの位置を修正する (次ページ)。



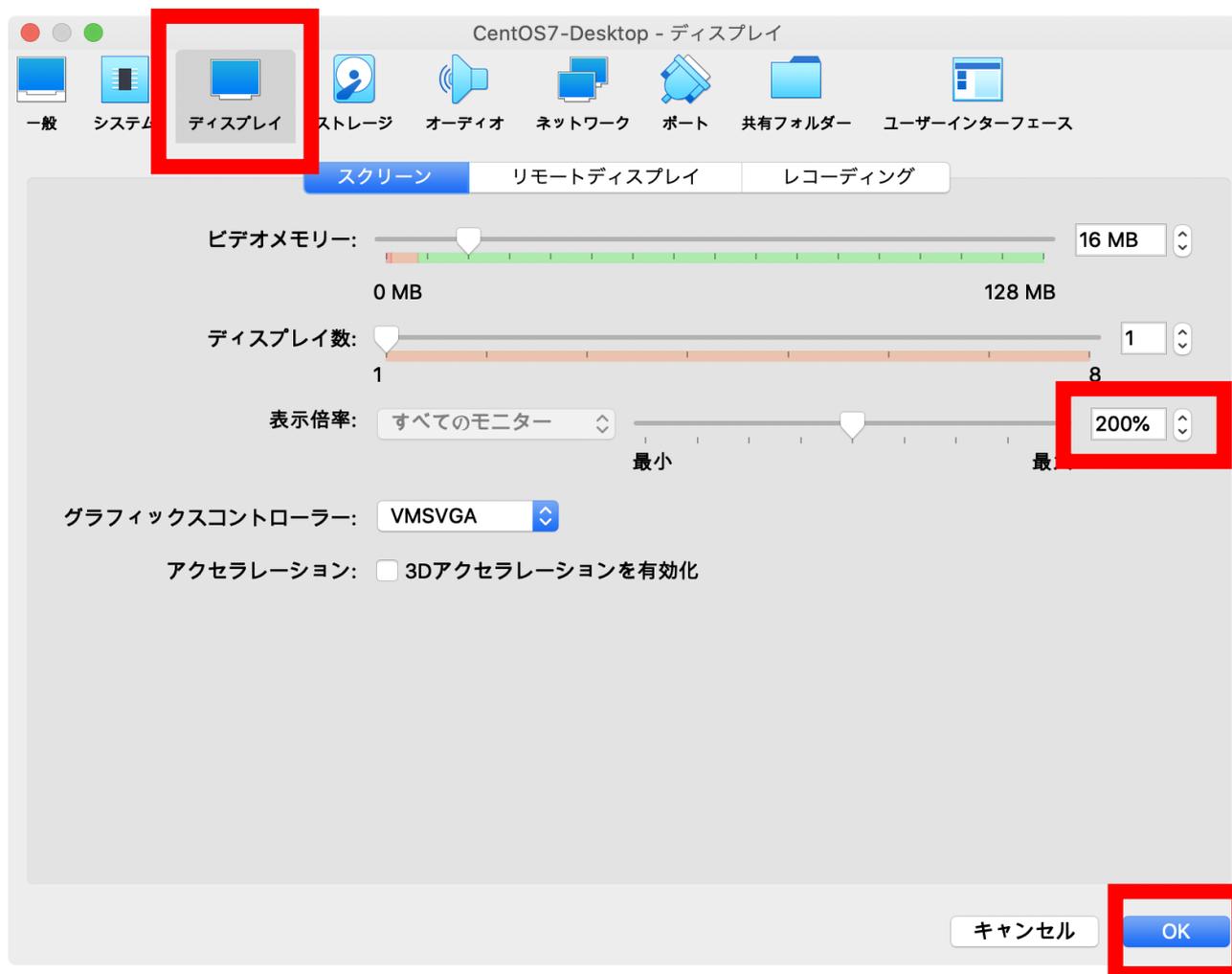
「共有フォルダー」をクリックする。
出てきた画面で  をクリックすると編集できるようになる。
Windowsの場合 `C:\Users\username\Documents\share`
macOSの場合 `/Users/username/Documents/share`
を指定する（usernameはお使いの環境で変更してください）。
またそのフォルダをホストOS (windows, macOS)で作成する。
ここでは上のようにDocumentsの下にフォルダを作ったが他の場所でもよい。 9

macOSのみ



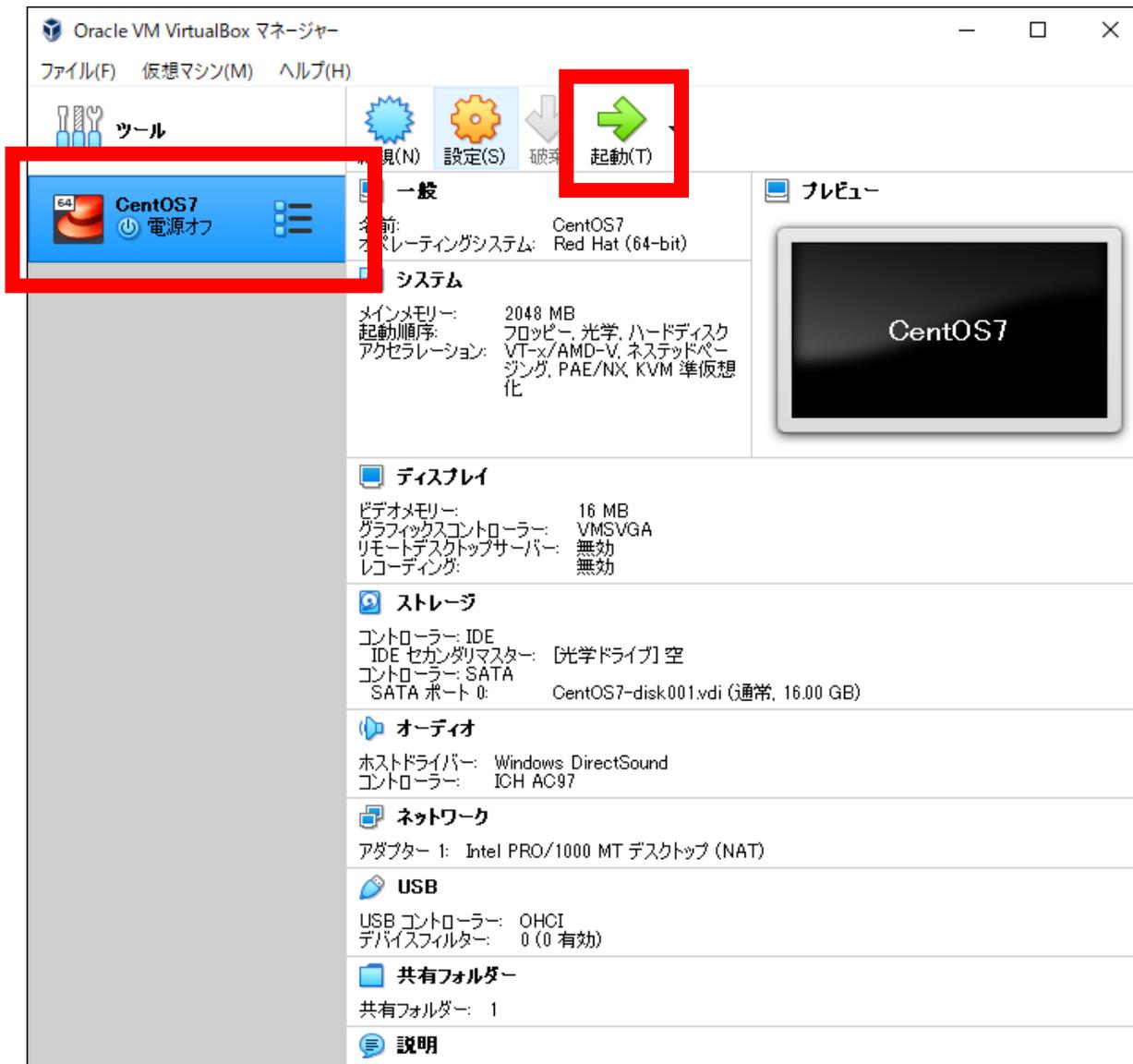
macOSでretinaディスプレイを使っている場合はさらに「設定」->「ディスプレイ」で解像度を設定する（次ページ）。設定しないと画面が小さすぎる。

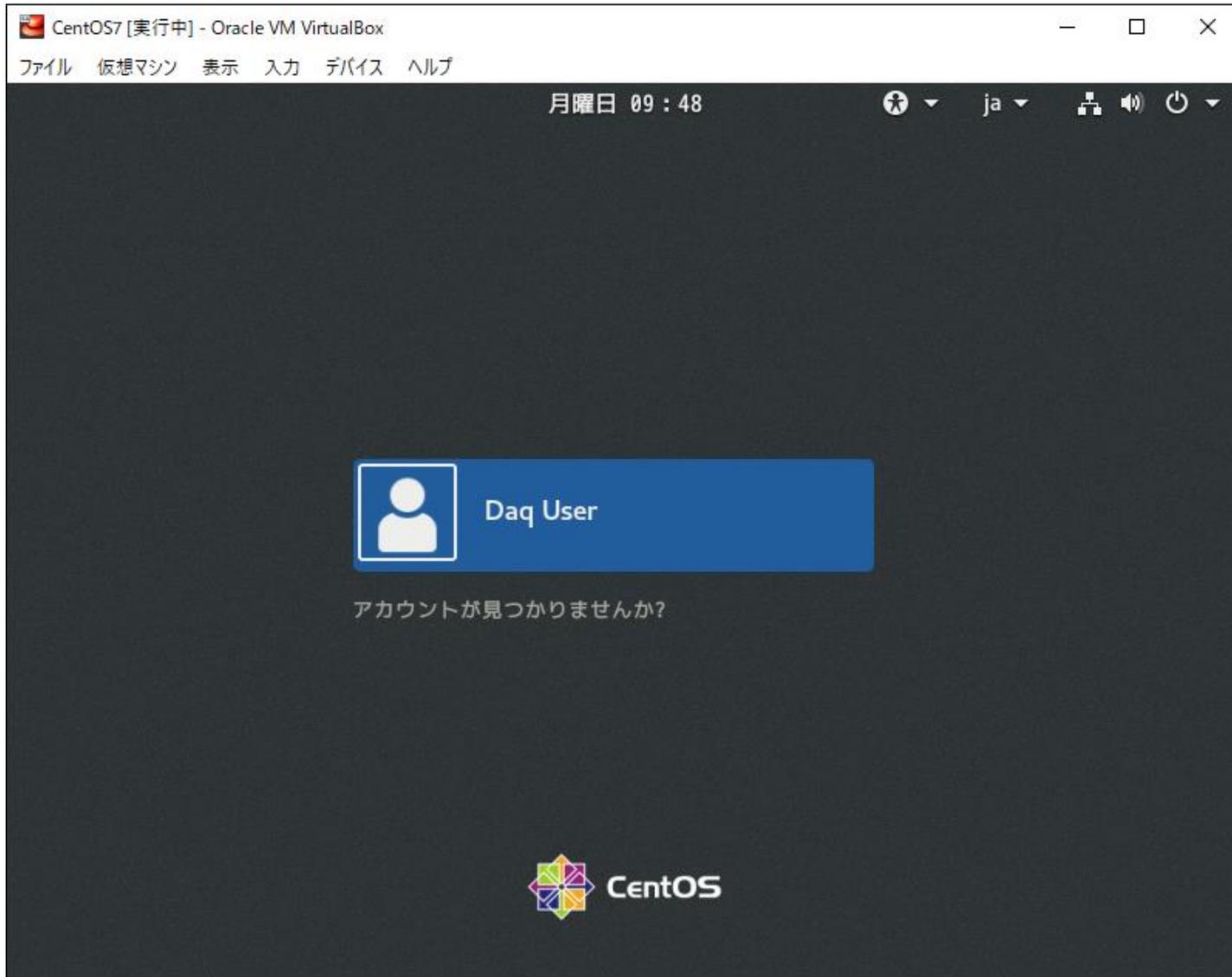
macOSのみ



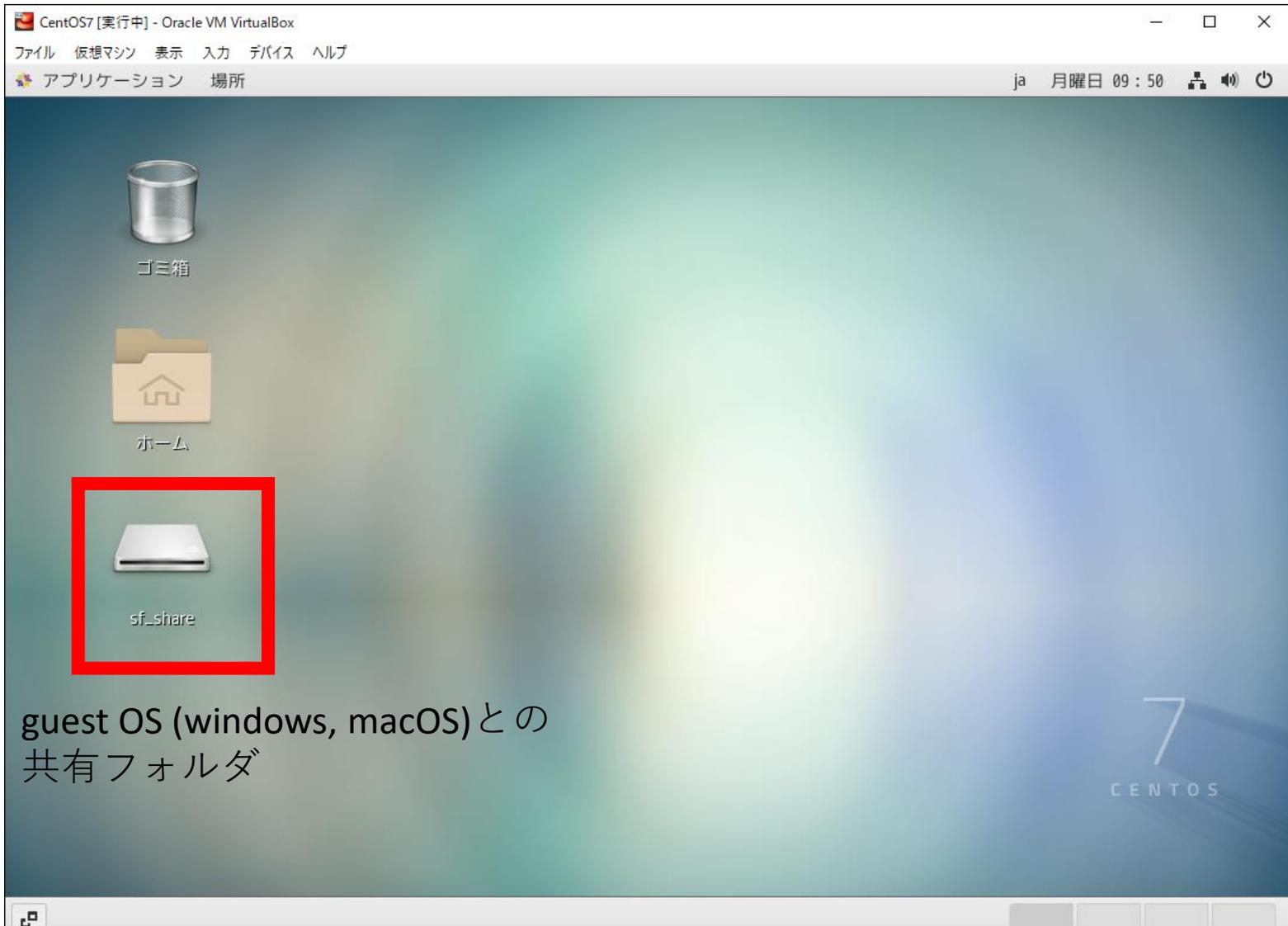
100%になっているので
200%に変更
して
OKボタンを
押す。

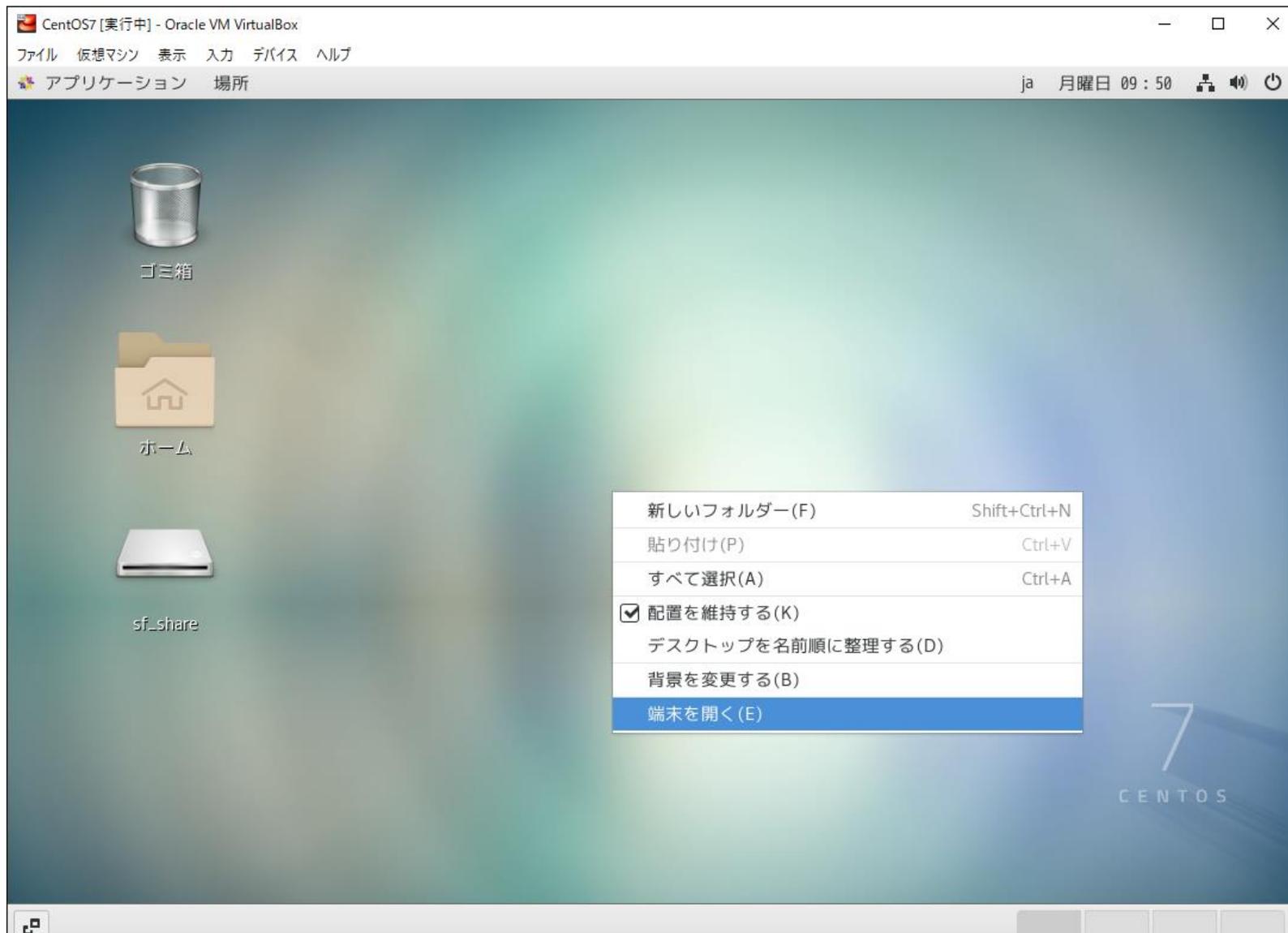
「CentOS7」をクリックする、あるいは「起動」をクリックするとCentOS 7が起動する。



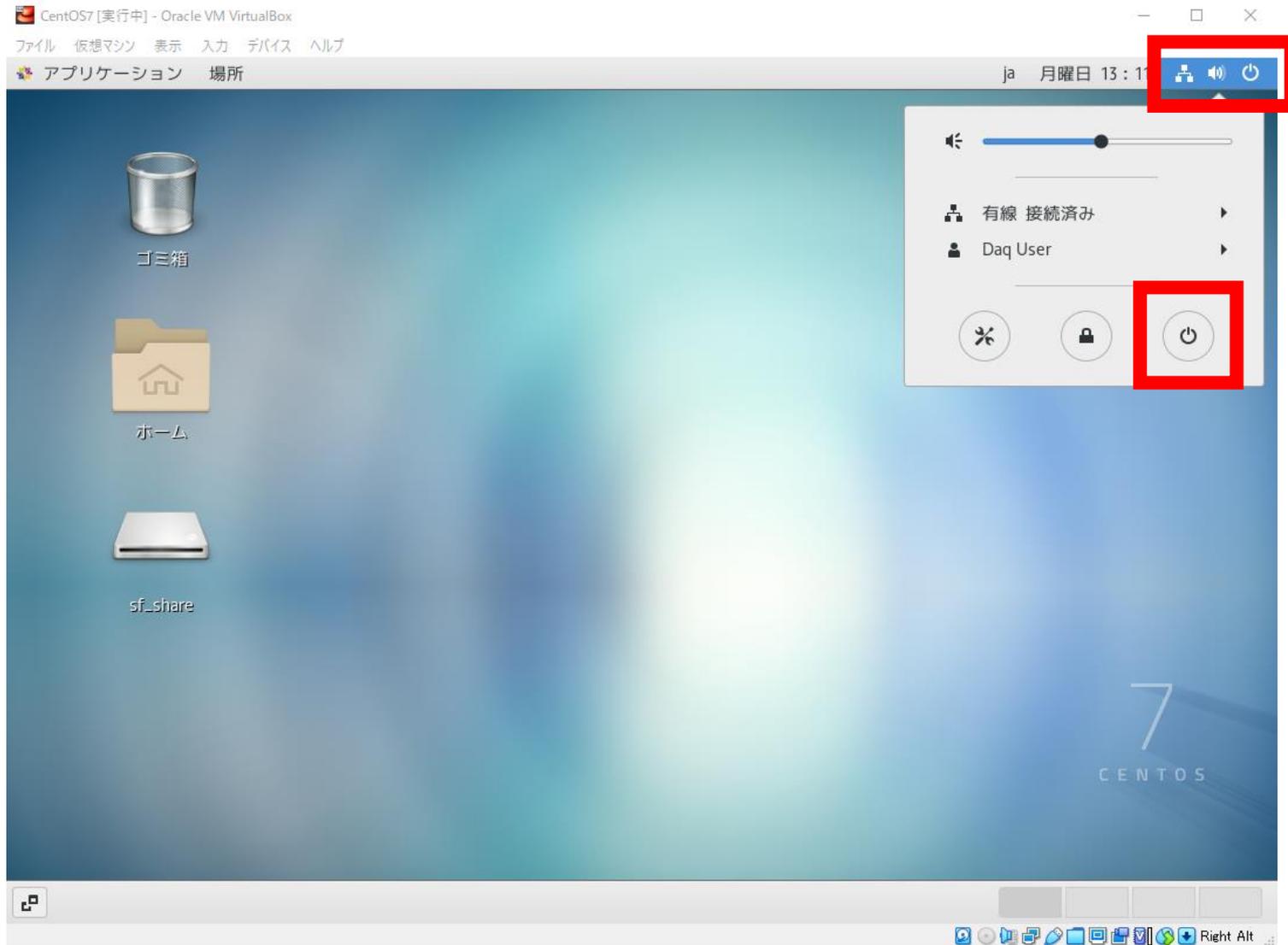


daq というユーザー名（本名 Daq User）がすでに登録されているのでパスワードabcd1234でログインする。





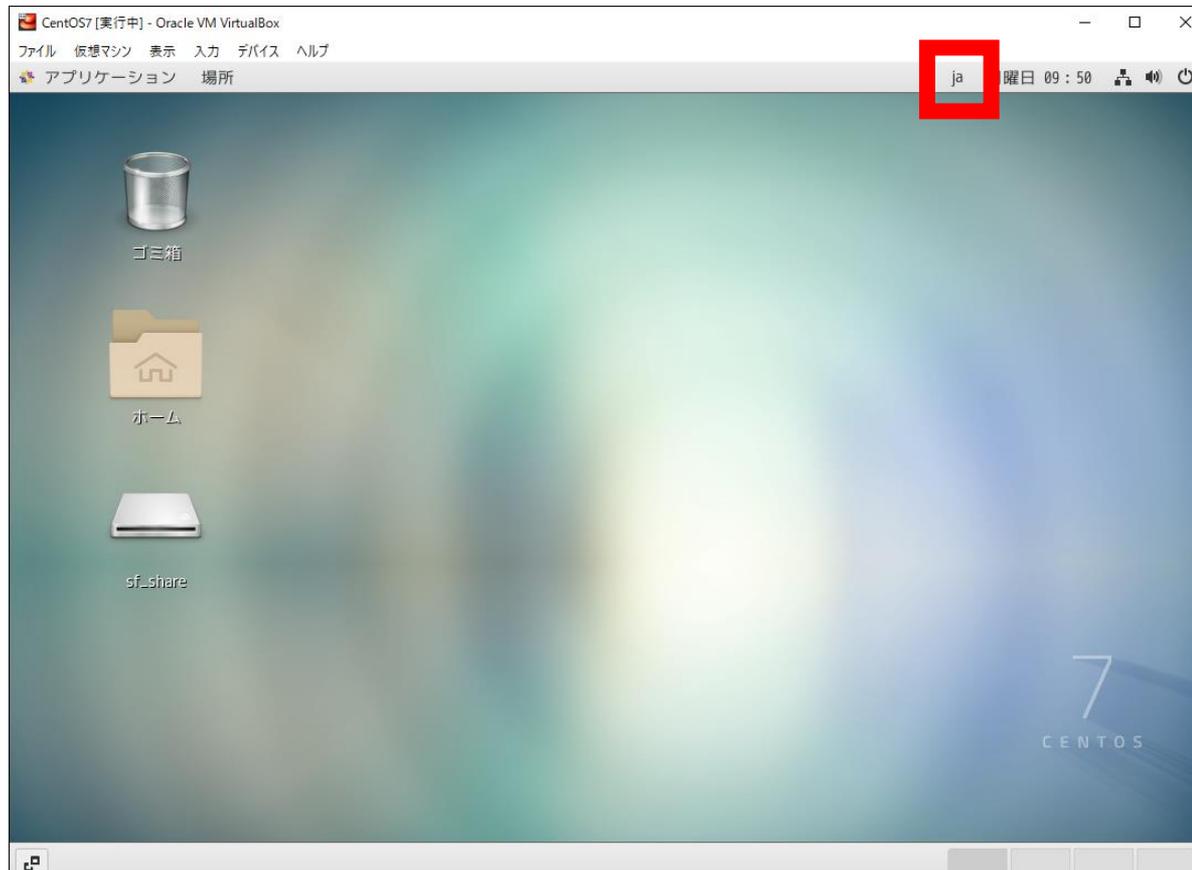
右クリック、あるいは2本指クリックで「端末を開く」から端末を起動することができる。



電源ボタンを押すとCentOS 7をシャットダウンできる。



英語キーボードを使っているとき



メニューバーでjaからenに変更すると英語キーボードに対応した文字が入力されるようになる（日本語キーボードと英語キーボードでは記号などの配列が違っている）。